

外国につながる生徒の教科指導に

ICT 支援を導入することの効果

—社会科における授業理解と参加意欲を高めるための実践—

教育実践高度化専攻 地域・教育課題解決コース

ICT 活用・科学ものづくり推進系

依田 和樹

本研究は、外国につながる生徒の授業理解を促進し、参加意欲を向上させるための支援や指導方法を確立することを目的に、手立てとして、外国につながる児童生徒に対する既存の支援に ICT を利用した支援を位置付け、その効果を検証したものである。支援は、リライト教材や GIGA スクール端末を利用した支援等 11 項目を設定し、中学 3 年生を対象にした司法に関する実践と、T2 として行った地方自治～経済分野での授業支援の中で実施した。実践後のアンケート調査や聞き取り調査、生徒による支援の順位付けなどを基に、支援の有効性を評価した結果、通常授業と比較した生徒の理解度、参加意欲の向上は見られなかったものの、既存の支援と比べて ICT を利用した支援の必要性を重視する傾向が見られ、生徒自身の理解度や学習スタイルに合わせた支援を選択することが可能となった。一方で、他分野における支援の実現性の問題や、授業者の負担の問題、協働学習に転換する上での問題なども見られ、今後の課題となった。